

表 17. (続き)

質問項目	排尿障害なし	投薬	導尿
	(N=20)	(N=181)	(N=91)
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
Q5 この1カ月の間に、尿の勢いが弱いことがあったか			
全くない	12 (60.0%)	39 (21.5%)	63 (69.2%)
5回に1回の割合より少ない	4 (20.0%)	13 (7.2%)	1 (1.1%)
2回に1回の割合より少ない	0 (0%)	4 (2.2%)	0 (0%)
2回に1回の割合くらい	0 (0%)	15 (8.3%)	3 (3.3%)
2回に1回の割合より多い	0 (0%)	3 (1.7%)	1 (1.1%)
ほとんどいつも	4 (20.0%)	107 (59.1%)	23 (25.3%)
点数 (0-5点) : 平均±SD	1.2±2.0	3.4±2.1 ***	1.4±2.2 †††
Q6 この1カ月の間に、尿をし始めるためにお腹に力をいれることがあったか			
全くない	9 (45.0%)	41 (22.7%)	73 (80.2%)
5回に1回の割合より少ない	5 (25.0%)	20 (11.0%)	2 (2.2%)
2回に1回の割合より少ない	0 (0%)	5 (2.8%)	0 (0%)
2回に1回の割合くらい	0 (0%)	18 (9.9%)	3 (3.3%)
2回に1回の割合より多い	0 (0%)	3 (1.7%)	0 (0%)
ほとんどいつも	6 (30.0%)	94 (51.9%)	13 (14.3%)
点数 (0-5点) : 平均±SD	1.8±2.2	3.1±2.1	0.8±1.8 †††
Q7 この1カ月の間に、夜寝てから朝起きるまでにふつう何回尿をするために起きたか			
0回	5 (25.0%)	22 (12.2%)	19 (20.9%)
1回	7 (35.0%)	41 (22.7%)	20 (22.0%)
2回	6 (30.0%)	51 (28.2%)	22 (24.2%)
3回	1 (5.0%)	23 (12.7%)	19 (20.9%)
4回	1 (5.0%)	23 (12.7%)	5 (5.5%)
5回以上	0 (0%)	21 (11.6%)	6 (6.6%)
点数 (0-5点) : 平均±SD	1.3±1.1	2.3±1.5 *	1.9±1.4
合計点 (平均±SD)	7.2±6.4	18.7±8.2 ***	8.5±9.0 †††

* $p < 0.05$; ** $p < 0.01$; *** $p < 0.001$ (vs. 排尿障害なし)

††† $p < 0.001$ (vs. 投薬)

表 18. HAM 患者の ICIQ-SF スコア (排尿障害重症度別)

質問項目	排尿障害なし	投薬	導尿
	(N=20)	(N=181)	(N=91)
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
Q1 どれくらいの頻度で尿がもれるか			
なし	15 (75.0%)	60 (33.1%)	43 (47.3%)
おおよそ 1 週間に 1 回、あるいはそれ以下	3 (15.0%)	27 (14.9%)	8 (8.8%)
1 週間に 2~3 回	0 (0%)	15 (8.3%)	8 (8.8%)
おおよそ 1 日に 1 回	1 (5.0%)	26 (14.4%)	12 (13.2%)
1 日に数回	1 (5.0%)	48 (26.5%)	18 (19.8%)
常に	0 (0%)	5 (2.8%)	2 (2.2%)
点数 (0-5 点) : 平均±SD	0.5±1.1	1.9±1.7 ***	1.6±1.7 *
Q2 どれくらいの量の尿もれがあると思うか			
なし	15 (75.0%)	59(32.6%)	43 (47.3%)
少量	4 (20.0%)	73 (40.3%)	29 (31.9%)
中等量	1 (5.0%)	43 (23.8%)	14 (15.4%)
多量	0 (0%)	6 (3.3%)	5 (5.5%)
点数 (0-6 点) : 平均±SD	0.6±1.1	2.0±1.7 ***	1.6±1.8
Q3 全体として毎日の生活は尿もれのためにどれくらいそこなわれているか			
点数 (0-10 点) : (平均±SD)	0.4±1.1	3.1±3.3 ***	2.9±3.6 **
Q4 どんな時に尿がもれるか			
尿もれはない†††	15 (75.0%)	59 (32.6%)	43 (47.3%)
トイレにたどりつく前にもれる†††	5 (25.0%)	114 (63.0%)	43 (47.3%)
咳やくしゃみをした時にもれる	2 (10.0%)	40 (22.1%)	11 (12.1%)
眠っている間にもれる††	0 (0%)	50 (27.6%)	18 (19.8%)
体を動かしている時や運動している時にもれる †	2 (10.0%)	41 (22.7%)	8 (8.8%)
排尿を終えて服を着たときにもれる †	0 (0%)	15 (8.3%)	1 (1.1%)
理由が分からずにもれる	0 (0%)	7 (3.9%)	2 (2.2%)
常にもれている	0 (0%)	2 (1.1%)	0 (0%)
合計点 (平均±SD)	1.5±3.1	7.0±6.0 ***	6.0±6.5 *

* $p < 0.05$; ** $p < 0.01$; *** $p < 0.001$ (vs. 排尿障害なし)

† $p < 0.05$; †† $p < 0.01$; ††† $p < 0.001$ (χ^2 検定、3 群間の比較)

表 19. HAM 患者の N-QOL スコア (排尿障害重症度別)

質問項目	排尿障害なし	投薬	導尿
	(N=20)	(N=181)	(N=91)
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
Q1 翌日、ものごとに集中することが難しかった			
全くなかった	17 (85.0%)	134 (74.0%)	68 (74.7%)
まれに	2 (10.0%)	14 (7.7%)	3 (3.3%)
ときどき	1 (5.0%)	19 (10.5%)	10 (11.0%)
ほぼ毎日	0 (0%)	12 (6.6%)	8 (8.8%)
毎日	0 (0%)	2 (1.1%)	2 (2.2%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.2±0.5	0.5±1.0	0.6±1.1
Q2 翌日、全般的に活力の低下を感じた			
全くなかった	17 (85.0%)	128 (70.7%)	64 (70.3%)
まれに	2 (10.0%)	15 (8.3%)	5 (5.5%)
ときどき	1 (5.0%)	24 (13.3%)	10 (11.0%)
ほぼ毎日	0 (0%)	13 (7.2%)	10 (11.0%)
毎日	0 (0%)	1 (0.6%)	2 (2.2%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.2±0.5	0.6±1.0	0.7±1.2
Q3 日中、昼寝が必要であった			
全くなかった	17 (85.0%)	117 (64.6%)	64 (70.3%)
まれに	2 (10.0%)	13 (7.2%)	5 (5.5%)
ときどき	1 (5.0%)	31 (17.1%)	12 (13.2%)
ほぼ毎日	0 (0%)	16 (8.8%)	8 (8.8%)
毎日	0 (0%)	4 (2.2%)	2 (2.2%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.2±0.5	0.8±1.2	0.7±1.1
Q4 翌日、ものごとがはかどらなかつた			
全くなかった	17 (85.0%)	132 (72.9%)	68 (74.7%)
まれに	2 (10.0%)	15 (8.3%)	3 (3.3%)
ときどき	1 (5.0%)	20 (11.0%)	13 (14.3%)
ほぼ毎日	0 (0%)	13 (7.2%)	7 (7.7%)
毎日	0 (0%)	1 (0.6%)	0 (0%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.2±0.5	0.5±1.0	0.6±1.0
Q5 楽しい活動 (余暇活動など) に参加することが減つた			
全くなかった	18 (90.0%)	159 (87.8%)	81 (89.0%)
少し	2 (10.0%)	8 (4.4%)	3 (3.3%)
中くらい	0 (0%)	6 (3.3%)	1 (1.1%)
かなり	0 (0%)	6 (3.3%)	5 (5.5%)
非常に	0 (0%)	2 (1.1%)	1 (1.1%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.1±0.3	0.3±0.8	0.3±0.8
Q6 水分をいつ、どれくらい飲むかについて気を使わなければならなくなった			
全くなかった	17 (85.0%)	140 (77.3%)	78 (85.7%)
まれに	1 (5.0%)	5 (2.8%)	1 (1.1%)
ときどき	2 (10.0%)	15 (8.3%)	5 (5.5%)
ほぼ常に	0 (0%)	12 (6.6%)	5 (5.5%)
常に	0 (0%)	9 (5.0%)	2 (2.2%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.3±0.6	0.6±1.2	0.4±1.0
Q7 夜、十分な睡眠をとることが難しかった			
全くなかった	15 (75.0%)	98 (54.1%)	47 (51.6%)
まれに	3 (15.0%)	15 (8.3%)	10 (11.0%)
ときどき	1 (5.0%)	31 (17.1%)	12 (13.2%)
ほぼ毎晩	1 (5.0%)	27 (14.9%)	14 (15.4%)
毎晩	0 (0%)	10 (5.5%)	8 (8.8%)
素点 (0-4 点) : 平均±SD	0.3±0.6	1.1±1.4	1.1±1.4

表 19. (続き)

質問項目	排尿障害なし	投薬	導尿
	(N=20)	(N=181)	(N=91)
	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
Q8 夜間、尿をするために起きなければならないので、家族や同居者に迷惑をかけているのではないかと気になった ^a			
全くなかった	18 (100.0%)	135 (84.4%)	73 (89.0%)
少し	0 (0%)	14 (8.8%)	7 (8.5%)
中くらい	0 (0%)	5 (3.1%)	0 (0%)
かなり	0 (0%)	5 (3.1%)	1 (1.2%)
非常に	0 (0%)	1 (0.6%)	1 (1.2%)
素点 (0-4点) : 平均±SD	0±0	0.3±0.7	0.2±0.6
Q9 夜間、尿をするために起きなければならないことで、頭がいっぱいになった			
全くなかった	19 (95.0%)	163 (90.1%)	84 (92.3%)
まれに	1 (5.0%)	7 (3.9%)	4 (4.4%)
ときどき	0 (0%)	3 (1.7%)	1 (1.1%)
ほぼ常に	0 (0%)	5 (2.8%)	0 (0%)
常に	0 (0%)	3 (1.7%)	2 (2.2%)
素点 (0-4点) : 平均±SD	0.1±0.2	0.2±0.8	0.2±0.6
Q10 今後、この状態がさらに悪くなるのが心配だった			
全くなかった	18 (90.0%)	124 (68.5%)	70 (76.9%)
少し	2 (10.0%)	24 (13.3%)	5 (5.5%)
中くらい	0 (0%)	13 (7.2%)	3 (3.3%)
かなり	0 (0%)	14 (7.7%)	7 (7.7%)
非常に	0 (0%)	6 (3.3%)	6 (6.6%)
素点 (0-4点) : 平均±SD	0.1±0.3	0.6±1.1	0.6±1.3
Q11 この状態(夜間、尿をするために起きなければならないこと)に対する有効な治療法がないことが心配だった			
全くなかった	19 (95.0%)	127 (70.2%)	66 (72.5%)
少し	0 (0%)	23 (12.7%)	8 (8.8%)
中くらい	1 (5.0%)	5 (2.8%)	3 (3.3%)
かなり	0 (0%)	18 (9.9%)	9 (9.9%)
非常に	0 (0%)	8 (4.4%)	5 (5.5%)
素点 (0-4点) : 平均±SD	0.1±0.4	0.7±1.2	0.7±1.2
Q12 全体として、この4週間に、夜間、尿をするために起きなければならないことはどれくらい煩わしかったか			
全くなかった	14 (70.0%)	70 (38.7%)	38 (41.8%)
少し	5 (25.0%)	29 (16.0%)	16 (17.6%)
中くらい	0 (0%)	32 (17.7%)	13 (14.3%)
かなり	1 (5.0%)	30 (16.6%)	14 (15.4%)
非常に	0 (0%)	20 (11.0%)	10 (11.0%)
素点 (0-4点) : 平均±SD	0.4±0.8	1.5±1.4 **	1.4±1.4 *
Q13 全体として、夜間、尿をするために起きなければならないことは、どれくらい日常生活を妨げているか			
素点 (0-10点) (平均±SD)	1.4±2.9	3.5±3.4 *	3.4±3.6 *
総得点 (平均±SD)	95.3±7.4	84.0±18.0 **	84.6±17.9 *

^a 排尿障害なし (N=18)、投薬 (N=160)、導尿 (N=82)

* $p < 0.05$; ** $p < 0.01$; *** $p < 0.001$ (vs. 排尿障害なし)

表 20. HAM 患者における健康関連 QOL: SF-36 v2 の 8 つの下位尺度の国民標準値に基づいたスコアリング得点 (性別)

下位尺度	全体	男性	女性	p値
	(N=304)	(N=79)	(N=225)	
	平均(SD)	平均(SD)	平均(SD)	
PF 身体機能	2.9 (18.0)	5.5 (20.5)	2.0 (17.0)	N.S.
RP 日常役割機能 (身体)	42.6 (15.5)	45.4 (15.0)	41.6 (15.6)	N.S.
BP 体の痛み	42.4 (12.3)	46.0 (13.3)	41.1 (11.7)	0.005
GH 全体的健康観	38.4 (10.0)	38.1 (8.5)	38.5 (10.5)	N.S.
VT 活力	41.9 (11.0)	43.0 (10.5)	41.6 (11.2)	N.S.
SF 社会生活機能	46.1 (12.5)	45.8 (13.1)	46.3 (12.4)	N.S.
RE 日常役割機能 (精神)	48.0 (11.9)	48.6 (11.1)	47.7 (12.2)	N.S.
MH 心の健康	46.4 (10.6)	47.0 (10.8)	46.2 (10.6)	N.S.

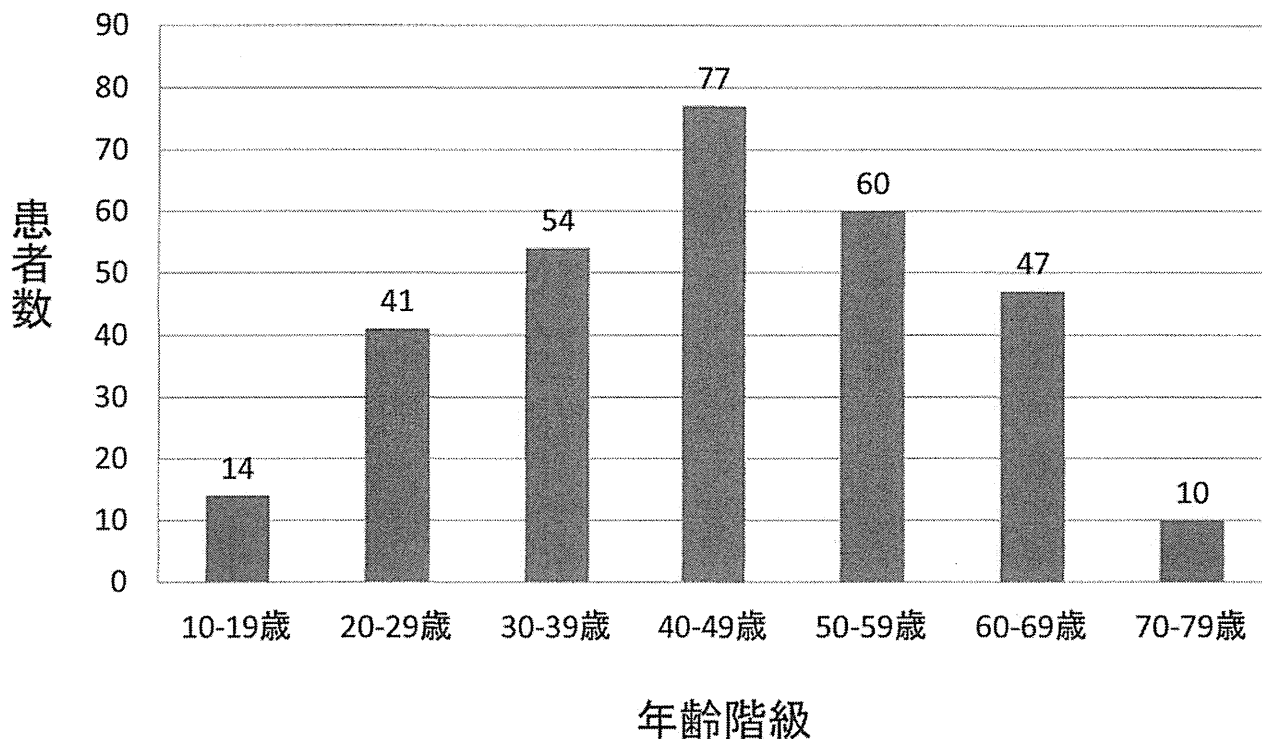


図1. HAM患者の発症年代分布 (N=303)

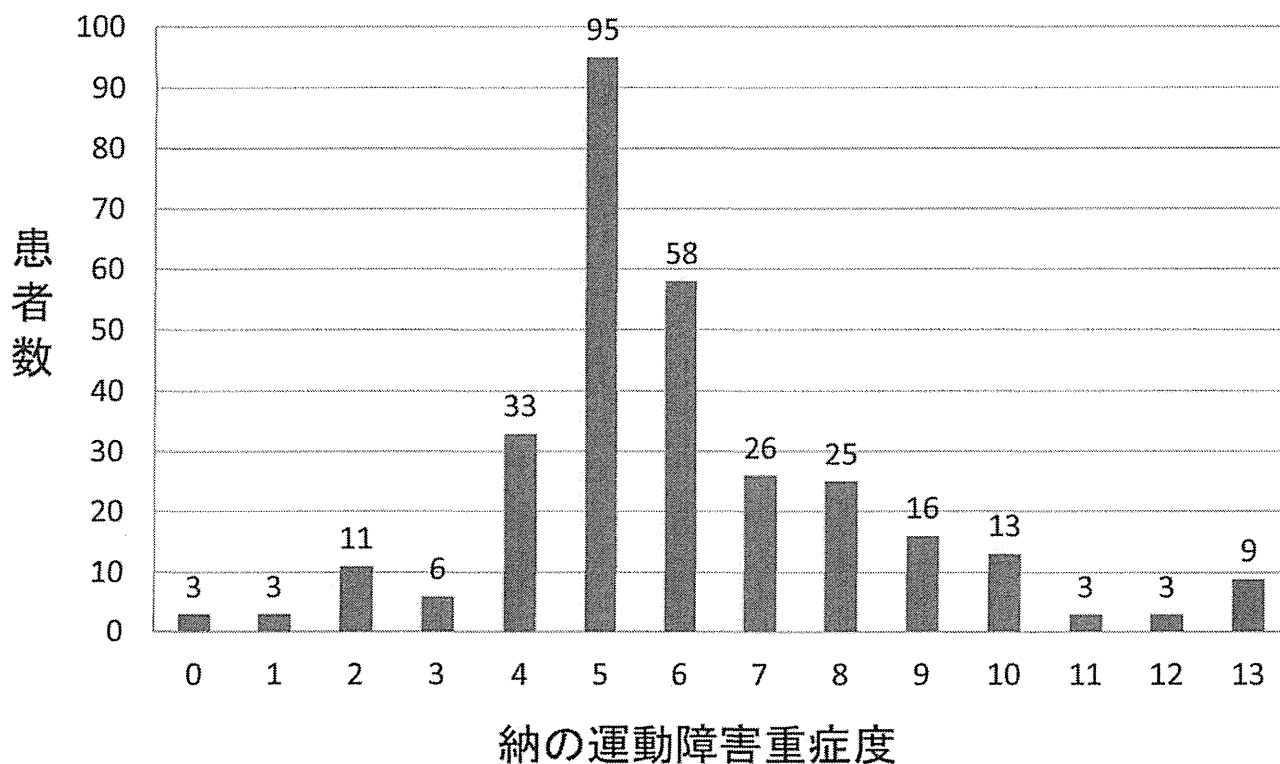


図2. HAM患者における現在の納の運動障害重症度 (N=304)
平均±SD: 6.1±2.4

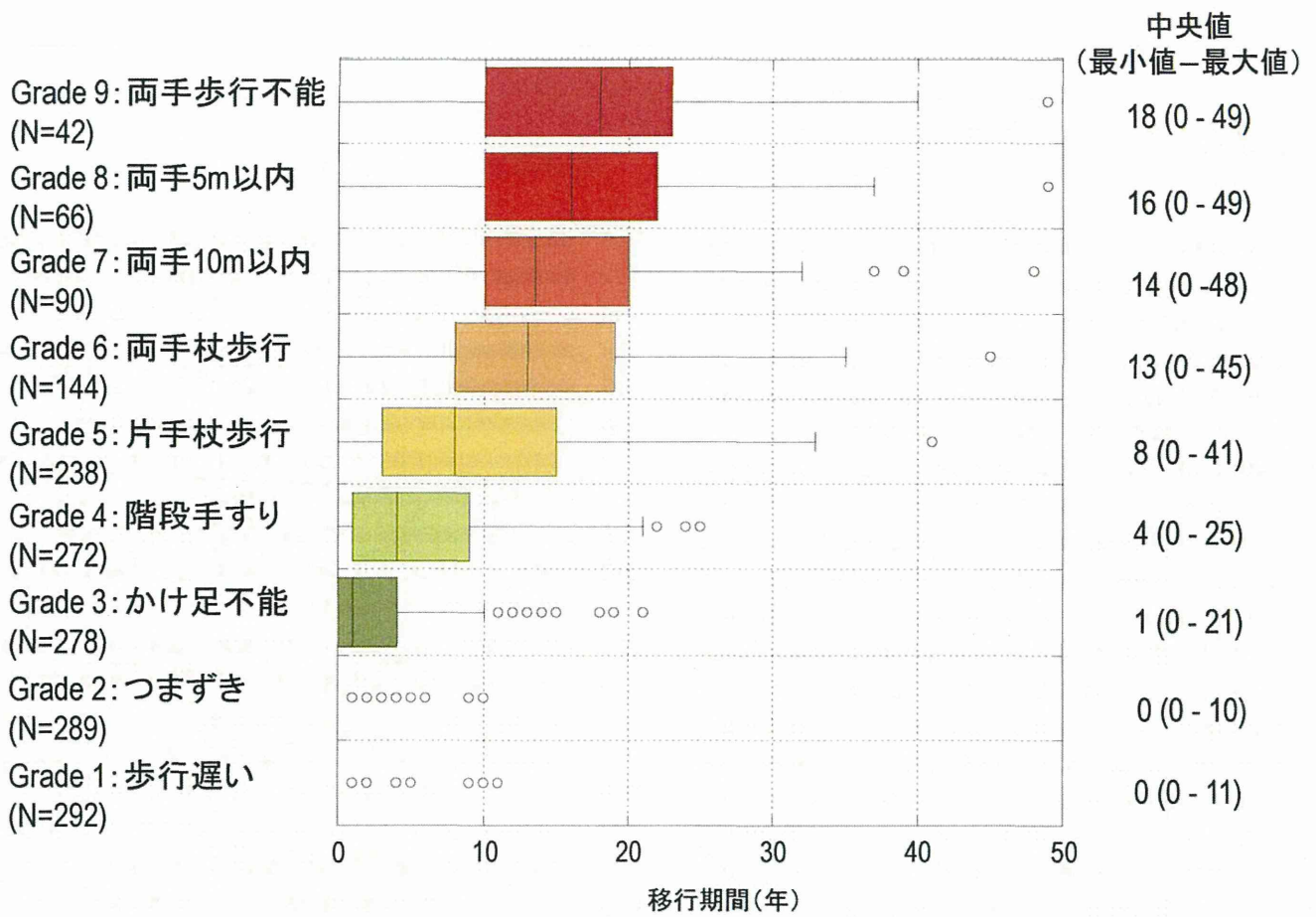


図3. 納の運動障害重症度：運動障害発現年齢からの移行期間

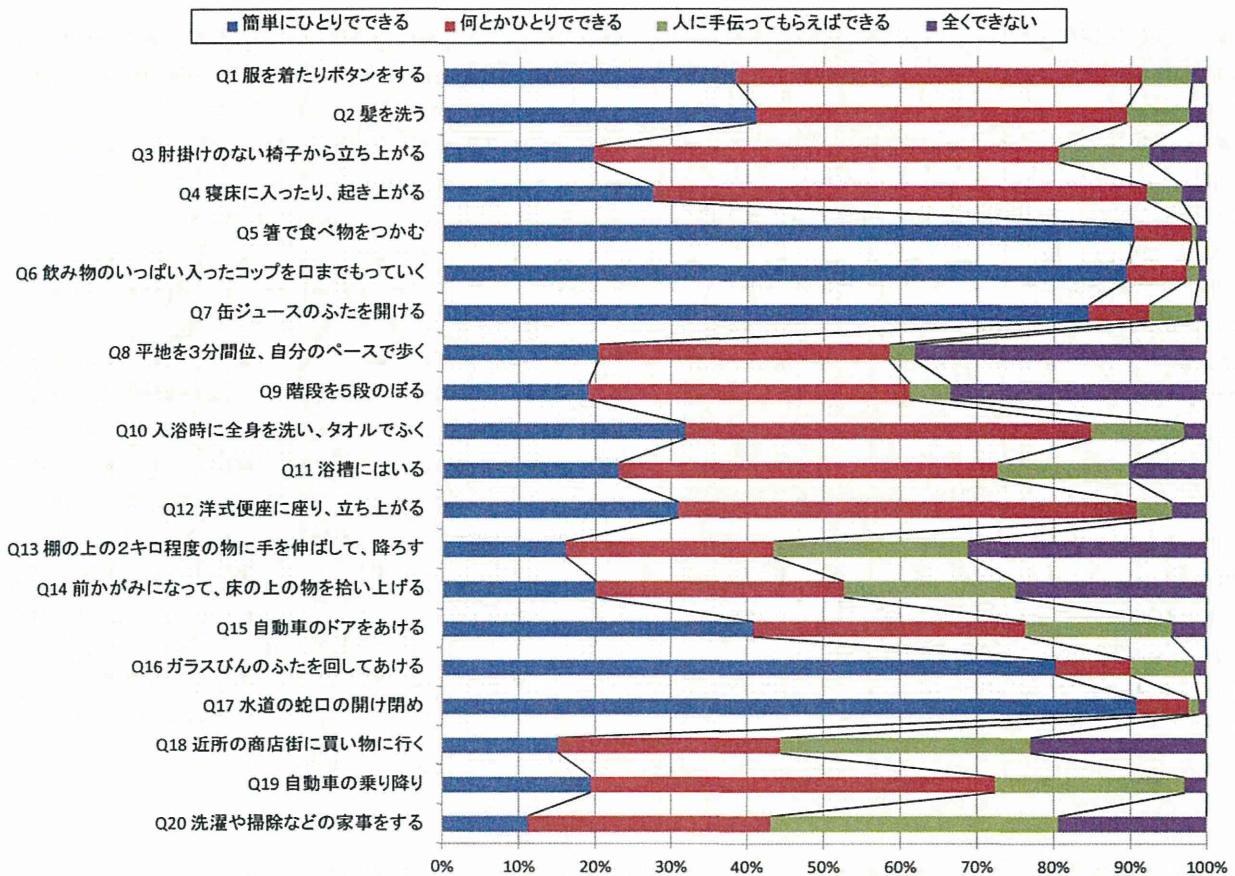


図4. HAM患者におけるHAQスコアの各質問項目別の割合(N=304)

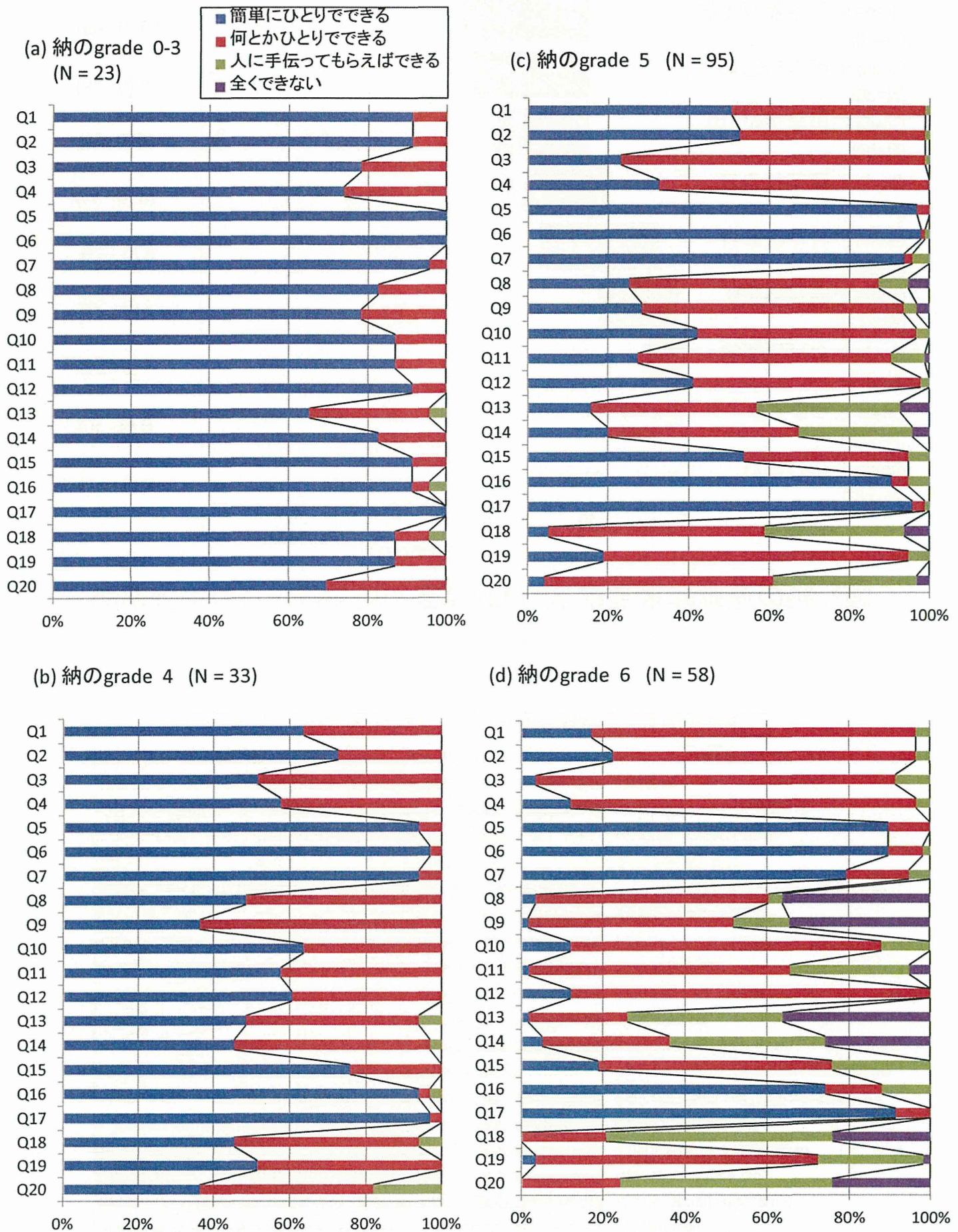
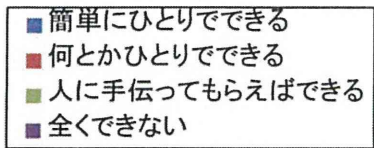
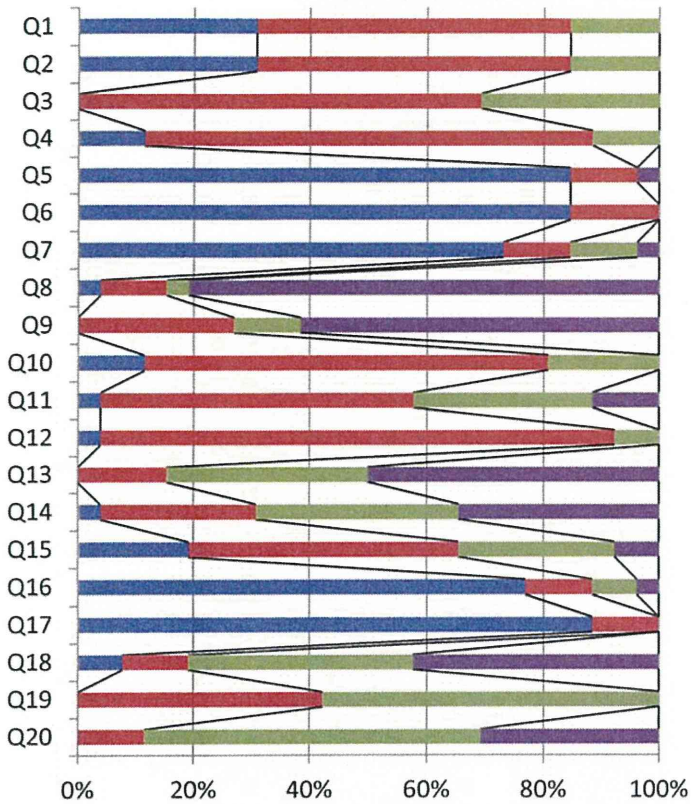


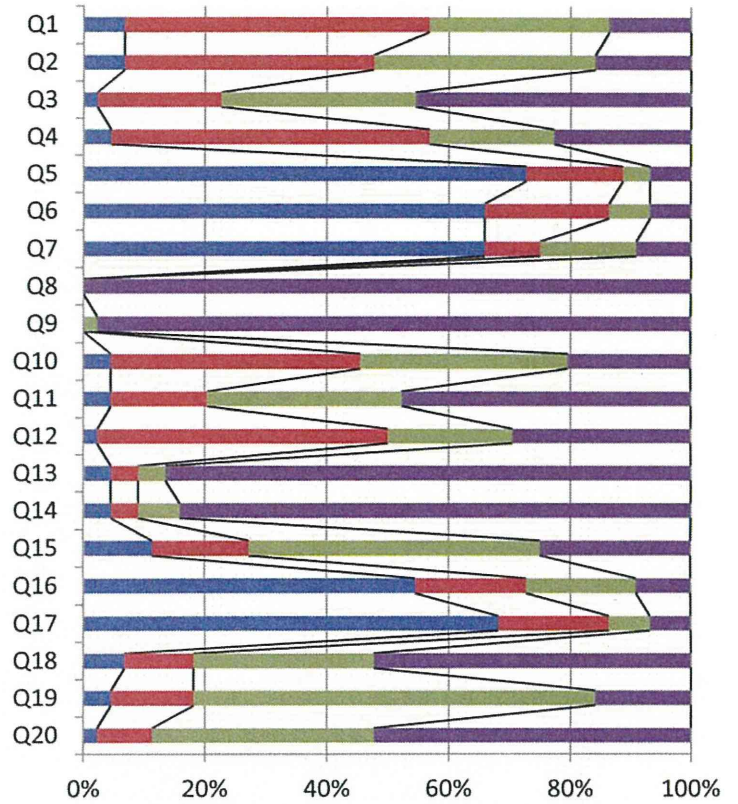
図5. HAM患者におけるHAQスコアの納の運動障害重症度別変化割合



(e) 納のgrade 7 (N = 26)



(g) 納のgrade 9-13 (N = 44)



(f) 納のgrade 8 (N = 25)

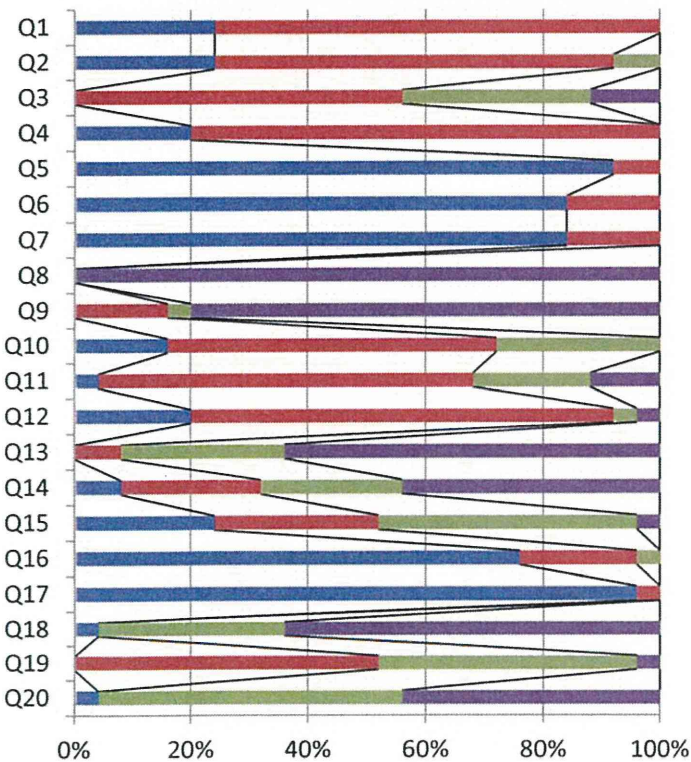


図5. HAM患者におけるHAQスコアの納の運動障害重症度別変化割合(続き)

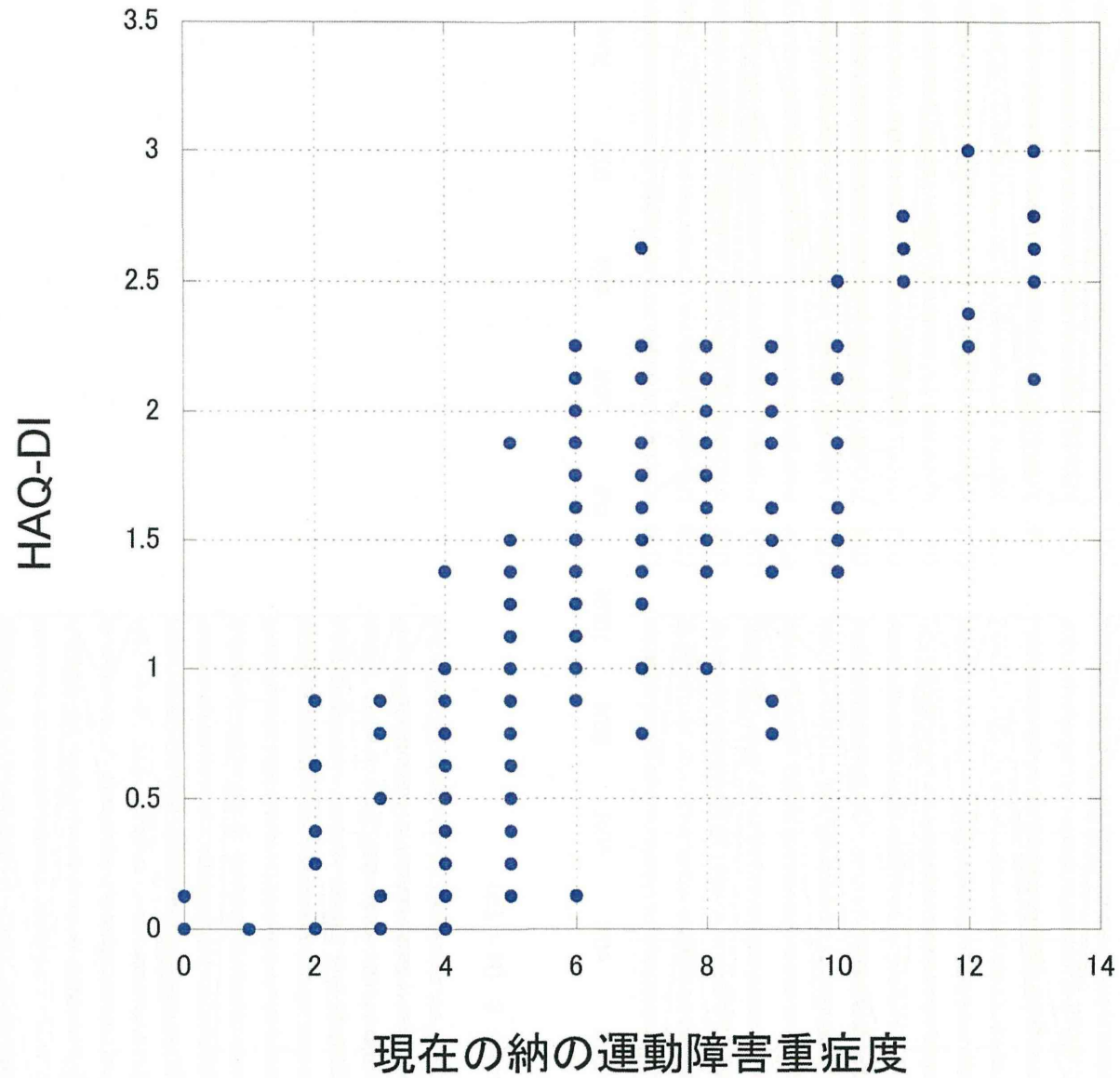


図6. HAM患者における納の運動障害重症度とHAQスコアとの相関 (N=304)

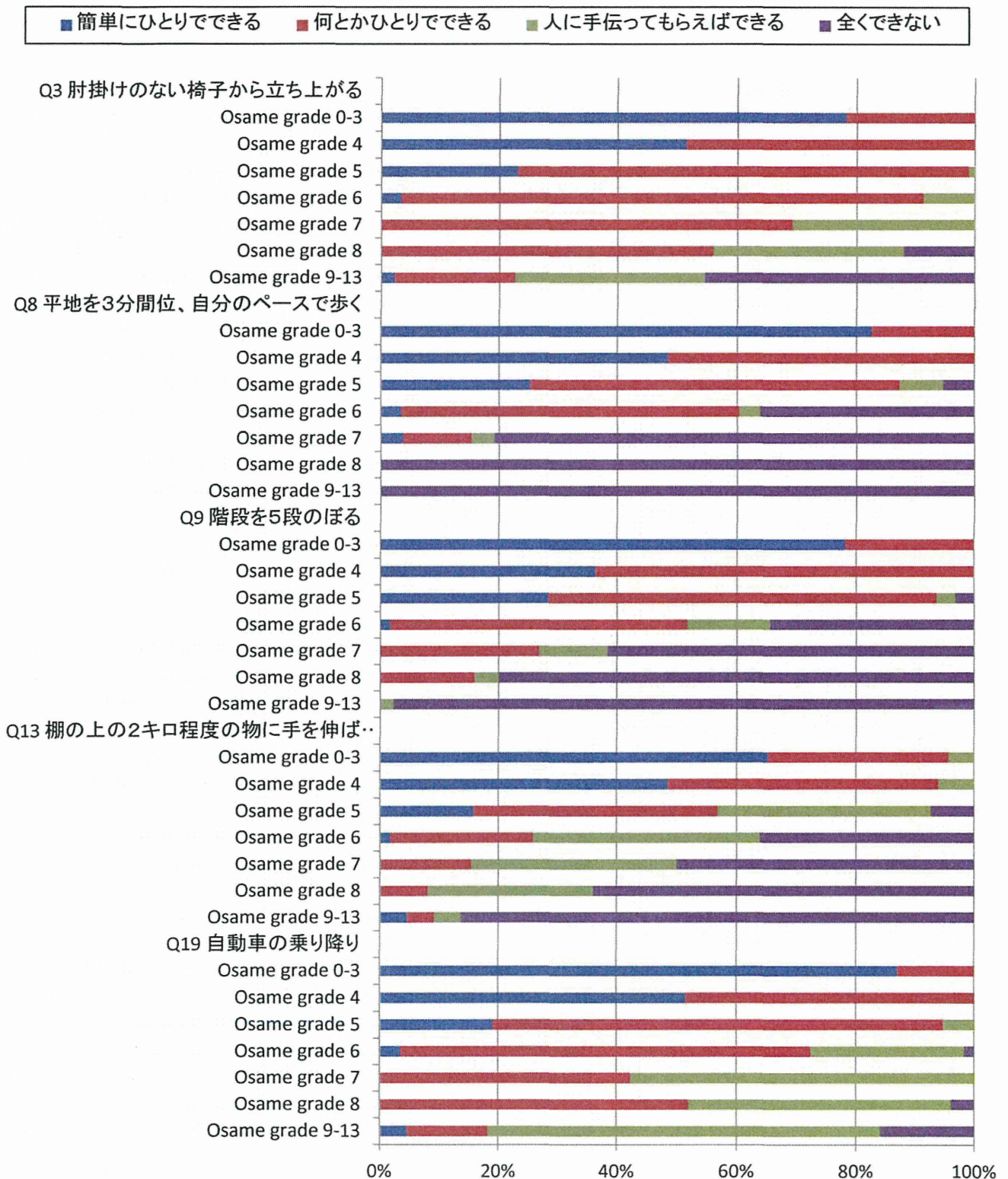


図7 (a). 現在の納の運動障害との相関が強いHAQの5つの質問項目 ($r = 0.7-0.8$)における納の運動障害重症度別の分布の変化

■ 簡単にひとりでできる ■ 何とかひとりでできる ■ 人に手伝ってもらえばできる ■ 全くできない

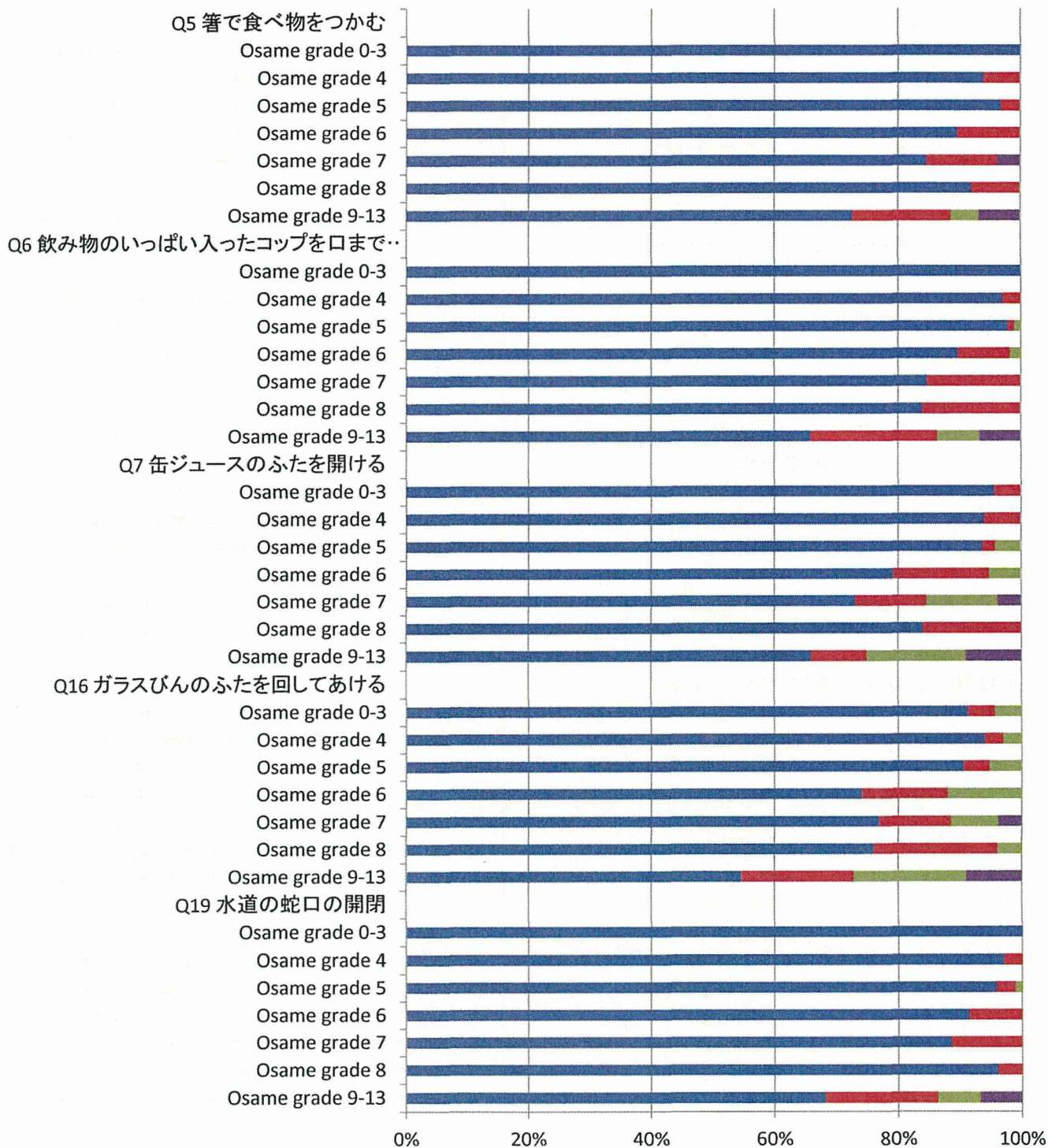


図7 (b). 現在の納の運動障害との相関が弱いHAQの5つの質問項目 ($r = 0.2-0.4$)における納の運動障害重症度別の分布の変化

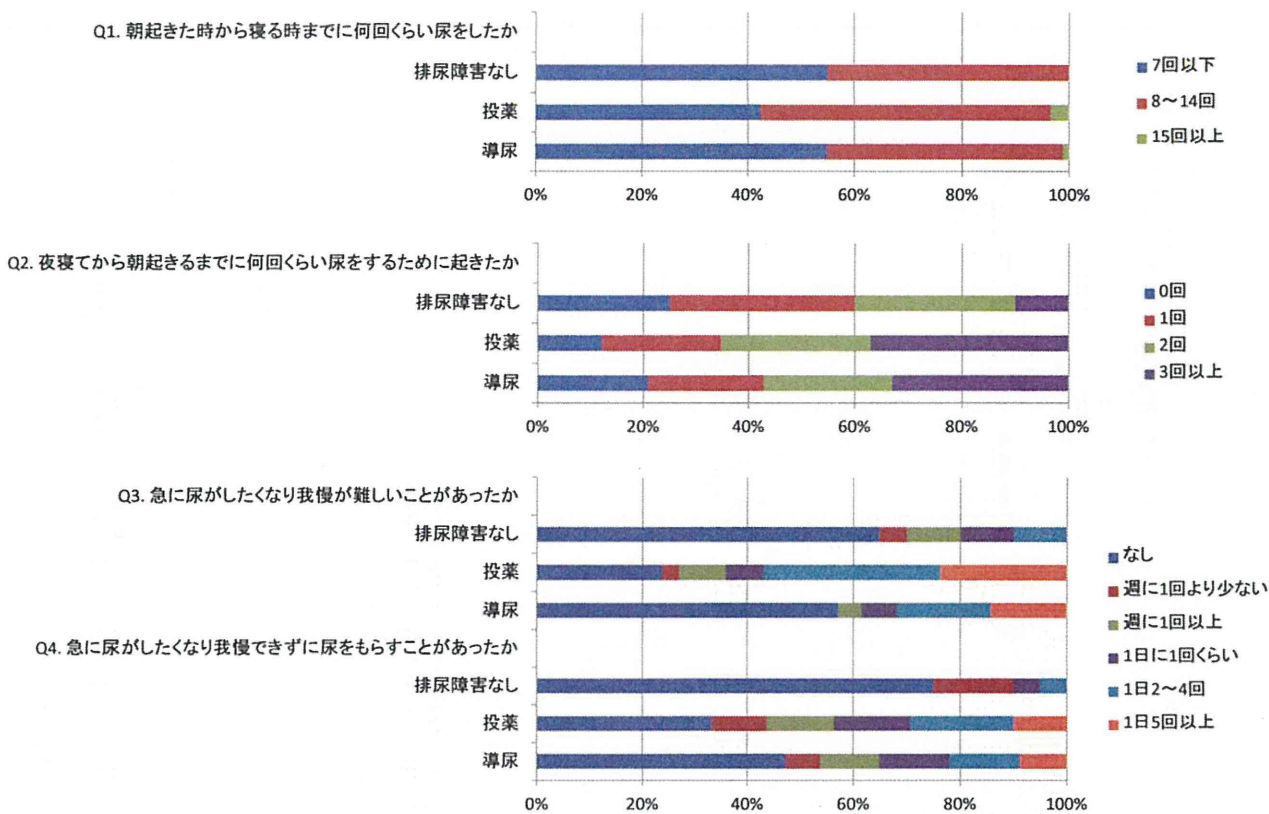


図8. HAM患者におけるOABSSスコアの分布(排尿障害重症度別)

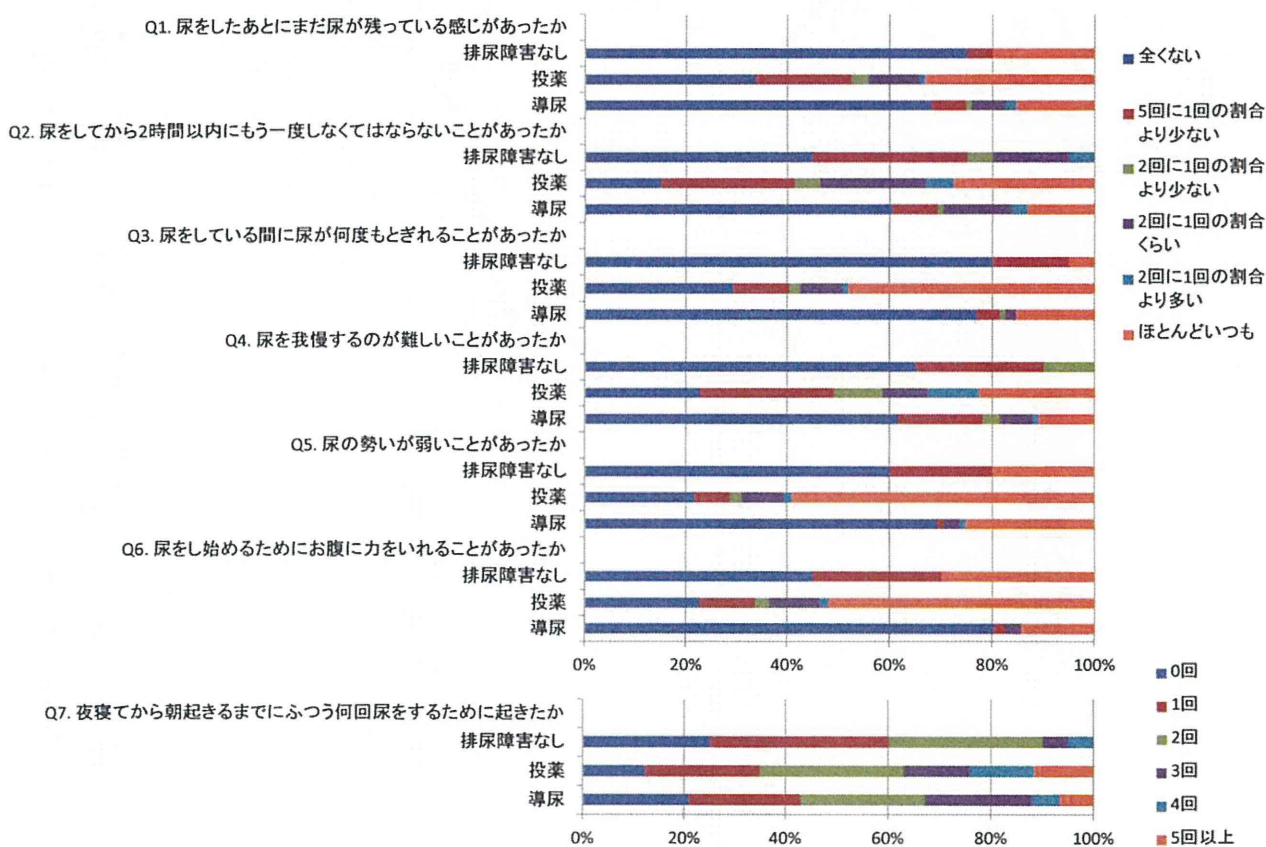


図9. HAM患者におけるI-PSSスコアの分布(排尿障害重症度別)

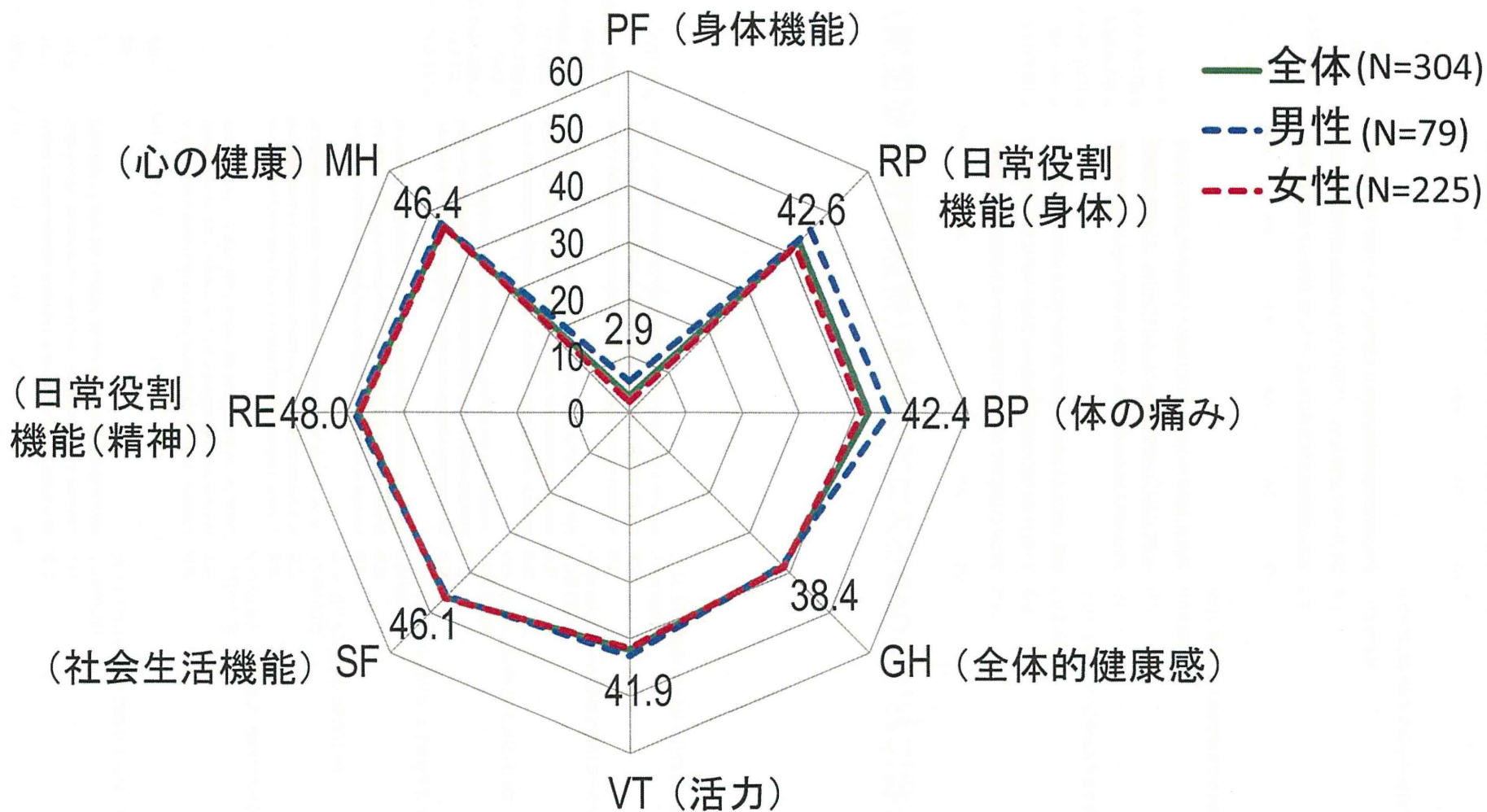


図10. HAM患者における健康関連QOL: SF-36 v2 8つの下位尺度の国民標準値に基づいたスコアリング得点の平均値 (N=304)

過活動膀胱症状質問票（OABSS）

以下の症状がどれくらいの頻度でありましたか。この1週間のあなたの状態にもっとも近いものを、ひとつだけ選んで、点数の数字を○で囲んでください。

質問	症状	点数	頻度
1	朝起きた時から寝る時までに、何回くらい尿をしましたか	0	7回以下
		1	8～14回
		2	15回以上
2	夜寝てから朝起きるまでに、何回くらい尿をするために起きましたか	0	0回
		1	1回
		2	2回
		3	3回以上
3	急に尿がしたくなり、我慢が難しいことがありましたか	0	なし
		1	週に1回より少ない
		2	週に1回以上
		3	1日1回くらい
		4	1日2～4回
		5	1日5回以上
4	急に尿がしたくなり、我慢できずに尿をもらすことがありますか	0	なし
		1	週に1回より少ない
		2	週に1回以上
		3	1日1回くらい
		4	1日2～4回
		5	1日5回以上
合計点数			点

国際尿失禁会議質問票（ショートフォーム）（ICIQ-SF）

最近1ヶ月間のあなたの尿もれの状態をお答え下さい。

1) どれくらいの頻度で尿がもれますか（ひとつの□をチェック）

- なし =0
- おおよそ1週間に1回、あるいはそれ以下 =1
- 1週間に2~3回 =2
- おおよそ1日に1回 =3
- 1日に数回 =4
- 常に =5

2) あなたはどれくらいの量の尿もれがあると思いますか？

（あてものを使う使わないにかかわらず、通常はどれくらいの尿もれがありますか？）

- なし =0
- 少量 =2
- 中等量 =4
- 多量 =6

3) 全体として、あなたの毎日の生活は尿もれのためにどれくらいそこなわれていますか？0（まったくくない）から10（非常に）までの間の数字を選んで○をつけて下さい。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
_____					_____					
まったくくない					非常に					

4) どんなときに尿がもれますか？

（あなたにあてはまるものすべてをチェックして下さい）

- なし- 尿もれはない
- トイレにたどりつく前にもれる
- せきやくしゃみをした時にもれる
- 眠っている間にもれる
- 体を動かしている時や運動している時にもれる
- 排尿を終えて服を着た時にもれる
- 理由がわからずにもれる
- 常にもれている

国際前立腺症状スコア (I-PSS)

症状スコア重症度： 軽度(0-7), 中等度(8-19), 重度(20-35)

	どれくらいの割合で次のような症状がありましたか	全くない	5回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合くらい	2回に1回の割合より多い	ほとんどいつも
Q1	この1ヶ月の間に、尿をしたあとにまだ尿が残っている感じがありましたか	0	1	2	3	4	5
Q2	この1ヶ月の間に、尿をしてから2時間以内にもう一度しなくてはならないことがありましたか	0	1	2	3	4	5
Q3	この1ヶ月の間に、尿をしている間に尿が何度もとぎれることがありましたか	0	1	2	3	4	5
Q4	この1ヶ月の間に、尿を我慢するのが難しいことがありましたか	0	1	2	3	4	5
Q5	この1ヶ月の間に、尿の勢いが弱いことがありましたか	0	1	2	3	4	5
Q6	この1ヶ月の間に、尿をし始めるためにお腹に力をいれることがありましたか	0	1	2	3	4	5

		0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
Q7	この1ヶ月の間に、夜寝てから朝起きるまでにふつう何回尿をするために起きましたか	0	1	2	3	4	5

国際前立腺症状スコア _____点

N-QOL 日本語版 version 1.0

この質問票は「夜間、排尿のために起きなければならないこと」が、あなたにどのように影響を及ぼしているかをお尋ねするものです。

この4週間に、夜間、尿をするために起きなければならないことによって、以下のことがどの程度ありましたか？	
1. 翌日、ものごとに集中することが難しかった	毎日□4 ほぼ毎日□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
2. 翌日、全般的に活力の低下を感じた	毎日□4 ほぼ毎日□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
3. 日中、昼寝が必要であった	毎日□4 ほぼ毎日□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
4. 翌日、ものごとがはかどらなかつた	毎日□4 ほぼ毎日□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
5. 楽しい活動（余暇活動など）に参加することが減った	非常に□4 かなり□3 中くらい□2 少し□1 全くなかった□0
6. 水分をいつ、どれくらい飲むかについて気を使わなければならなくなつた	常に□4 ほぼ常に□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
7. 夜、十分な睡眠をとることが難しかった	毎晩□4 ほぼ毎晩□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0

この4週間に、以下のことがどの程度ありましたか？	
8. 夜間、尿をするために起きなければならないので、家族や同居者に迷惑をかけているのではないかと気になった	非常に□4 かなり□3 中くらい□2 少し□1 全くなかった□0 家族や同居者はいない□9
9. 夜間、尿をするために起きなければならないことで、頭がいっぱいになった	常に□4 ほぼ常に□3 ときどき□2 まれに□1 全くなかった□0
10. 今後、この状態がさらに悪くなるのが心配だった	非常に□4 かなり□3 中くらい□2 少し□1 全くなかった□0
11. この状態（夜間、尿をするために起きなければならないこと）に対する有効な治療法がないのが心配だった	非常に□4 かなり□3 中くらい□2 少し□1 全くなかった□0
12. 全体として、この4週間に、夜間、尿をするために起きなければならないことは、どれくらい煩わしかったですか	非常に□4 かなり□3 中くらい□2 少し□1 全くなかった□0
13. 全体として、夜間、尿をするために起きなければならないことは、どれくらい日常生活を妨げていますか	0 (全くない) から 10 (非常にある) までの間の数字に○をつけて下さい 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 全くない 非常にある

HAQ (Health Assessment Questionnaire)

	簡単に ひとりで できる (0点)	何とか ひとりで できる (1点)	人に手伝って もらえば できる (2点)	全く できない (3点)
着衣と身繕い	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
1. 服を着たり、ボタンをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 髪を洗う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
起立	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
3. 肘掛けのない椅子から立ち上がる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 寝床に入ったり、寝床から起きあがる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食事	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
5. 箸で食べ物をつかむ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 飲み物のいっぱい入ったコップを口までもっていく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 缶ジュースのふたをあける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歩行	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
8. 平地を3分間位、自分のペースで歩く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 階段を5段のぼる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
衛生	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
10. 入浴時に全身を洗い、タオルでふく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 浴槽にはいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 洋式便座に座り、立ち上がる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
動作	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
13. 棚の上の2kg程度の物に手を伸ばして、降ろす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 前かがみになって、床の上の物を拾いあげる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
握力	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
15. 自動車のドアをあける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. ガラスびんのふたを回してあける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 水道の蛇口の開け閉め	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	このカテゴリーの最高値 (index) : _____			
18. 近所の商店街に買い物へ行く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 自動車の乗り降り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 洗濯や掃除などの家事をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

HAQ-DI : _____ (各カテゴリーの index の平均値)

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）
平成 24 年度分担研究報告書

当院における HTLV-I 関連脊髄症の実態調査

研究分担者 氏名 : 菊地 誠志
所属機関 : 北海道医療センター
職名 : 院長

研究協力者 氏名 : 新野 正明
所属機関 : 北海道医療センター
役職 : 臨床研究部長

研究要旨：北海道においては他地域に比べ、比較的 HTLV-I キャリアが多いとされ、それに関連し、HTLV-I 関連脊髄症（HAM）患者も比較的多いとされる。今回、2012 年に当院で診療した 6 名の HAM 患者の臨床症状並びに治療等を検討した。その結果、納の運動障害重症度で 10 以上と重症度の高い患者が 4 名と多かった。ステロイドで加療歴のある患者は 4 名で、IFN- α 治療を受けたことがある患者は 1 名であった。

を調べた。

A. 研究目的

HTLV-I 関連脊髄症（HAM）は西日本、特に九州、四国、沖縄に多いとされ、献血時のデータをみると HTLV-I 抗体陽性率も西日本に多い。一方、北海道は陽性率をみると西日本に次いで高い数字となっており、全国的に見ると北海道の抗体陽性率は低いわけではない。今回の研究では、2012 年の 1 年間に当院に通院もしくは入院した HAM 患者の臨床症状、治療を調査することによって、その特徴を検討することを目的とした。

B. 研究方法

2012 年の診療録を調査し、病名に HTLV-I 関連脊髄症が記載されている患者の病歴を調べ、HAM 確実例の臨床的特徴、治療歴等

C. 倫理面への配慮

今回の後ろ向き調査に当たっては、当院の倫理審査委員会での承認を得た後、研究の案内を公示した。データ収集に当たっては、個人名などが特定されないよう、細心の注意を払って行った。

D. 研究結果

今回の調査では、2012 年 1 年間に 6 例の HAM 患者を確認した。男性 1 名、女性 5 名、平均年齢は 65.7 歳、平均発症年齢は 47.3 歳であった。納の運動障害重症度では、Grade0 が 1 名、Grade1 が 1 名、Grade10 が 2 名、Grade11 が 2 名で、神経因性膀胱を呈した患者は 5 例で、そのうち 4 例は自己導尿を行っていた。ステロイド治療を受けた、もし